

# バイク用スマートフォンホルダー3

商品NO.

別記

## ■ご使用前に必ず内容をご確認ください■

- \*本商品のご使用前に最終項記載のURL(保証規定)より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。
- \*本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容を全て理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、弊社では一切の責任を負いません。
- \*本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

## ■禁止■

- \*運転者が走行中にスマートフォンやカーナビ、携帯電話などの画面を注視したり、電話機能を使用したりすることは法令で禁止されており大変危険です。また前方不注意による重大な事故の原因にもなりますので、法令を遵守し安全運転を心掛けてください。
- \*設計外径(φ22~29)以外のバー、異形バーへの取り付けは不可。
- \*設計重量制限(300gまで)を超える機種での装着は不可。
- \*商品および装着品が、車体部位など他部品に接触する取り付けは不可。
- \*本体中央のボタンボルト(本体と首振りクランプとを連結固定しているボルト)の調整。分解は不可。
- \*各ボルトへのねじ緩み止め剤塗布など、商品の素材を侵す溶剤・ケミカル類の使用は不可。

## ■注意■

- \*商品開梱時や取り付け・取り扱い時に、パッケージや商品の端面やバリなどで予期せぬ怪我や事故が発生する場合がありますので十分注意ください。
- \*商品可動部の調整、部品の組み替え、車体への取り付け、機種装着は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- \*装着機種を外力や雨水、熱、振動、盗難などから保護する機能はありません。装着機種の傷つき、防水、防塵、防熱、防振、盗難抑止などに十分注意してご使用ください。
- \*電源ボタン、カメラ、スピーカー、イヤホンジャックなどの設置位置は機種により異なるため、機能に支障ができる状態での取り付けとならざるを得ない場合があります。事前に十分ご確認ください。
- \*舗装・未舗装路を問わず、路面の段差などを乗り越える際などに発生する衝撃の度合いによっては、図らずもロックが外れる場合があります。走行振動対策や部品(構成部品含む)・装着機種の落下防止対策などを行ない十分注意してご使用ください。

## ■実施■

- \*商品開梱の際は、構成部品や外観に不具合・異常がないことを必ずご確認ください。万一お気付きの点がございましたら、ご使用前にお買い求めの販売店へ速やかに、ご相談ください。
- \*ご使用の機種やケースにより、実機サイズが異なります。商品の調整可動部や付属部品を有効に活用し、実機にとって最適な装着状態となるよう各部調整したうえで使用を開始してください。
- \*取り付け後、約100km走行しましたら、調整可動部や固定部など各部を点検整備し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。その後は500km毎に同様の点検整備を行なってください。
- \*本商品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。ご使用保管環境や経年変化、使用損耗により素材劣化(変色やサビ含む)が進行し、部品破損など予期せぬ不具合や事故損害が発生する場合があります。走行前に商品状態を毎回必ず点検し(調整可動部や固定部、水がたまりやすい箇所などは特に念入りに)、異常があれば、適宜新品交換(部品または商品)してください。
- \*走行中に商品自体や装着機種に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。

## ■その他■

- \*本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は、一切お受けできません。また商品保証は、本商品のみ対象となります。
- \*素材と製造方法、製品個体差などにより、仕上り品質はお手元の商品程度となります。程度の差につきましてはご了承ください。
- \*本商品は予告なく仕様や価格を変更する場合があります。

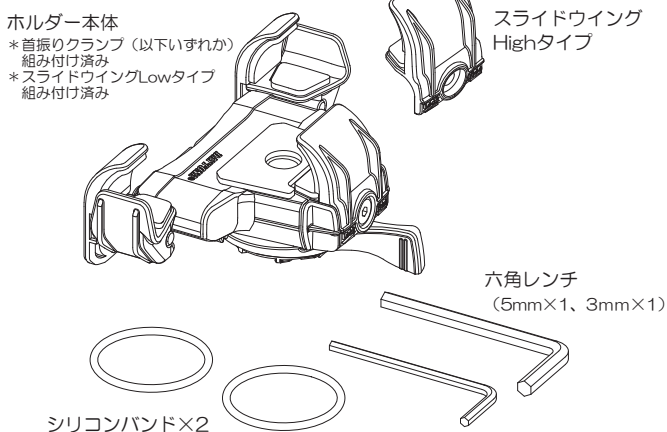
## 商品の特徴

- アルミパーツを使用したスマートな外観。
- さまざまなポジションでも見やすい自在な調整機能。
- レバー操作で、簡単にロック・解除が可能。
- スライド調整、部品組み替えにより側面のボタンに干渉せず、幅広い機種に対応。
  - ・装着可能機種寸法(目安・保護ケース含む)
    - 全長: 123~170mm
    - 全幅: 55~85mm
    - 厚さ: 6~18mm
    - 重量: 300g以下
- 取り付け可能ハンドル外径=φ22~29。
  - \*ハンドルの曲げ部やテーパー部への取り付けは不可。

## 商品ラインアップ

| 商品名                                  | 品番    |
|--------------------------------------|-------|
| バイク用スマートフォンホルダー3<br>IH-1100-D (リジッド) | 17232 |
| バイク用スマートフォンホルダー3<br>IH-1000-D (クイック) | 17234 |

## 商品構成



- 「IH-1100-D(リジッド)」と「IH-1000-D(クイック)」は以下の部品構成が異なります。

| IH-1100-D (リジッド)                     | IH-1000-D (クイック)                     |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 首振りクランプ (リジッドタイプ)<br>*ストラップホール付き*組込済 | 首振りクランプ (クイックタイプ)<br>*ストラップホール付き*組込済 |
|                                      |                                      |
| クランプスパーサー (ブラック/薄)                   | クランプスパーサー (ライトグレー/中)                 |
| クランプスパーサー (ブラック/厚)                   | クランプシート                              |

## 補修部品 (17232用)

補修部品の詳細はこちらへ⇒



<https://www.daytona.co.jp/products/single-17232-genre>

## 補修部品 (17234用)

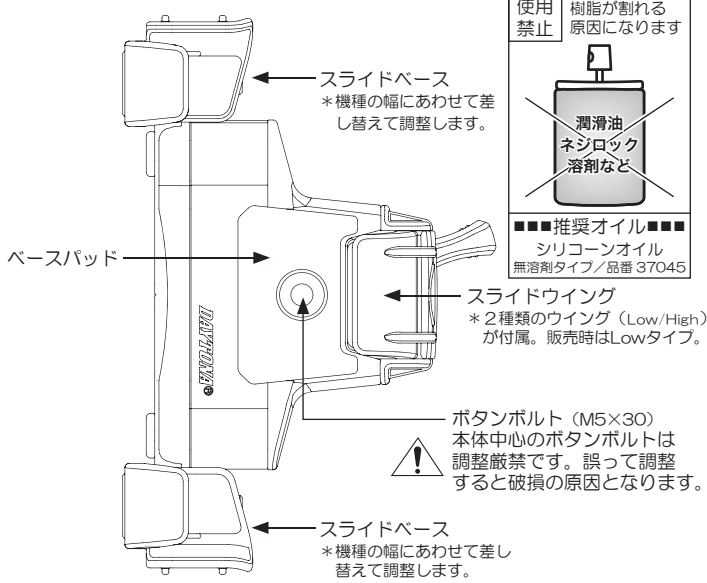
補修部品の詳細はこちらへ⇒



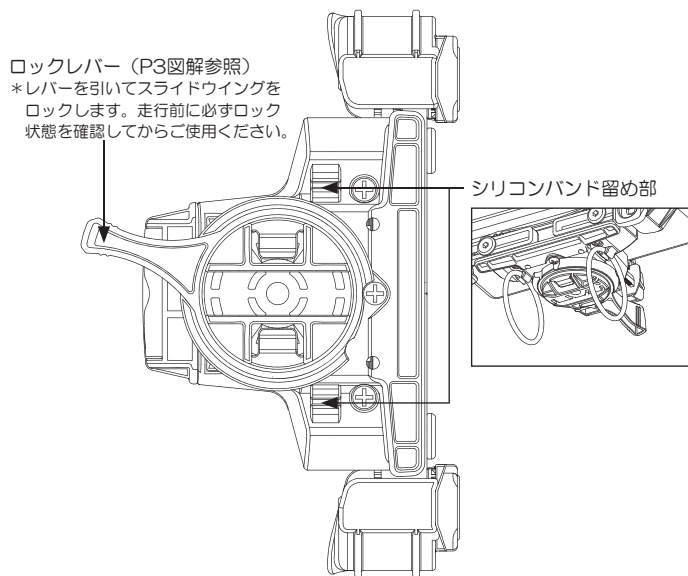
<https://www.daytona.co.jp/products/single-17234-genre>

各部名称

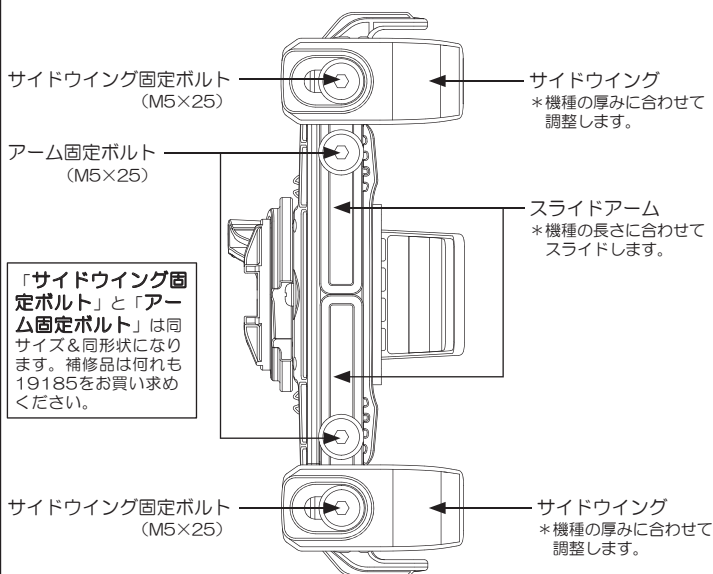
【正面】



【背面】

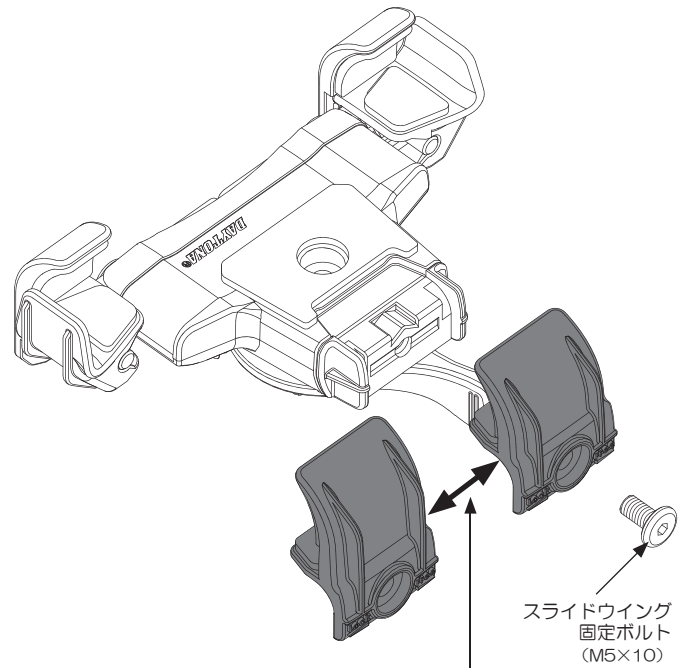


【側面(サイドウイング側)】

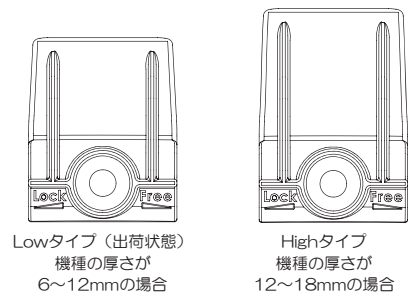


スライドウイングの選択

スライドウイングには2種類のウイング (Low/High) があり、Lowタイプが標準で装着されています。機種幅の厚さに合わせ、3mm六角レンチを使用し、適切なタイプを選択・組み付けしてください。

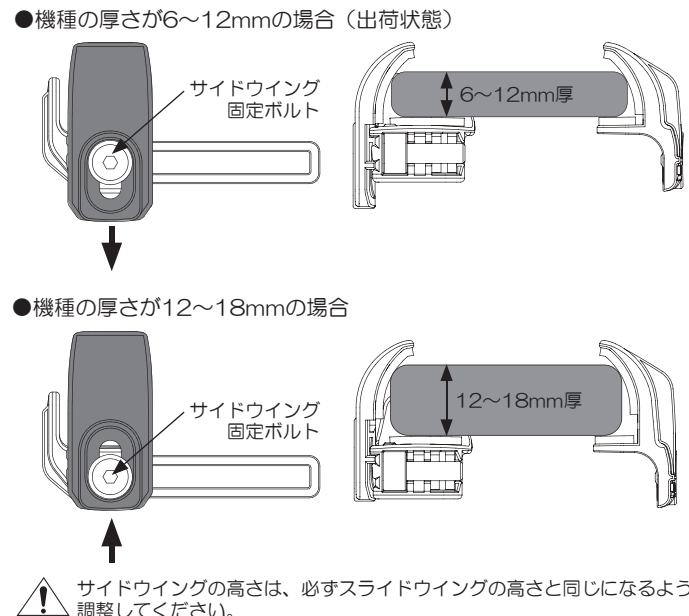


機種幅の厚さが12mm以上の場合、3mm六角レンチを使用し、ウイングをHighタイプに交換してください。



サイドウイングの高さ調整

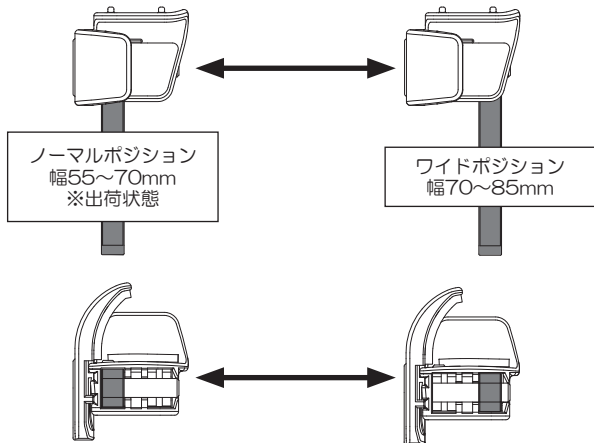
機種幅の厚さに合わせ、3mm六角レンチを使用し、サイドウイングの高さを調整してください。



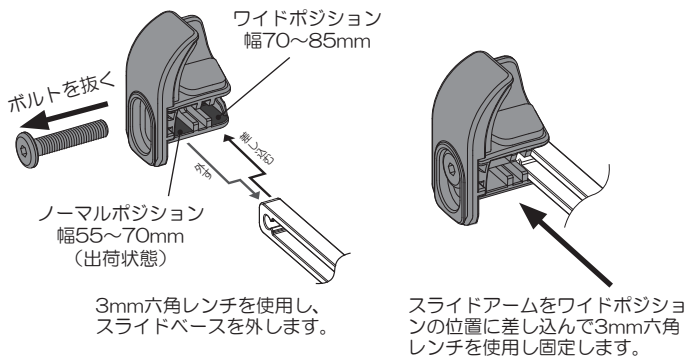
## 横幅の調整

機種横幅が70mm以上の場合は、スライドベースの差し替えポジション変更が必要です。

### ●スライドベースのポジション選択



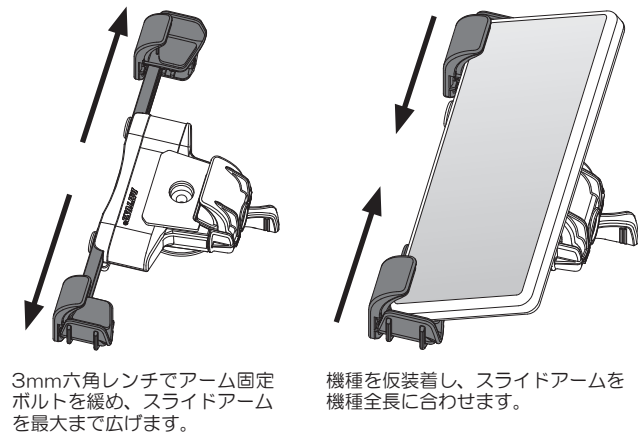
### ●スライドベースの差し替え



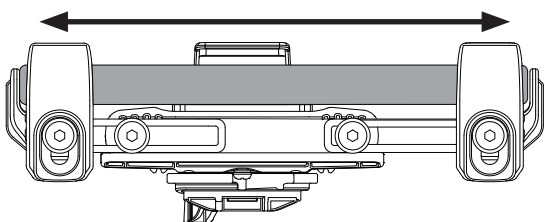
## 長さの調整

スライドアームを最大まで広げ、位置決めのため機種を仮装着します。位置が決まったらアーム固定ボルトを締めてスライドアームを固定します。

### ●機種全長に合わせる



### ●位置を決める

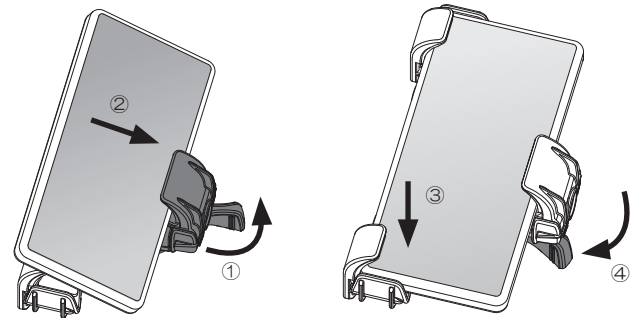


スライドアームを好みの位置に合わせてアーム固定ボルトを締めて固定します。  
\*スマートフォンのボタンの干渉を避けることが出来ます。

⚠ 各部の調整後、本体中心のボタンボルトを除く、全てのボルトの締め付けを行ってください。

## 機種をホルダーに装着

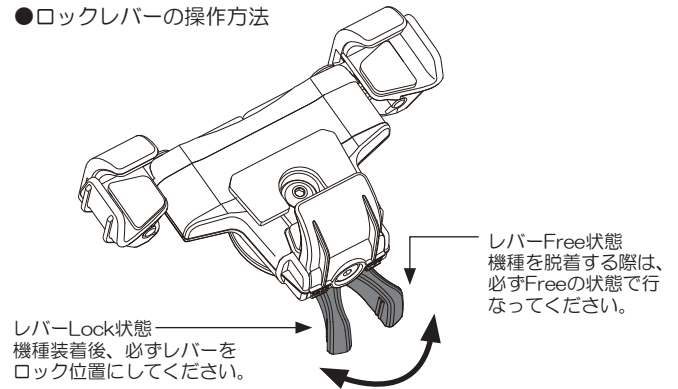
①ロックレバーを解除します。②機種を差し込みスライドウイングを押し込みながらスライドさせ③反対側を差し込んで取り付けます。④ロックレバーでスライド機構をロックします。



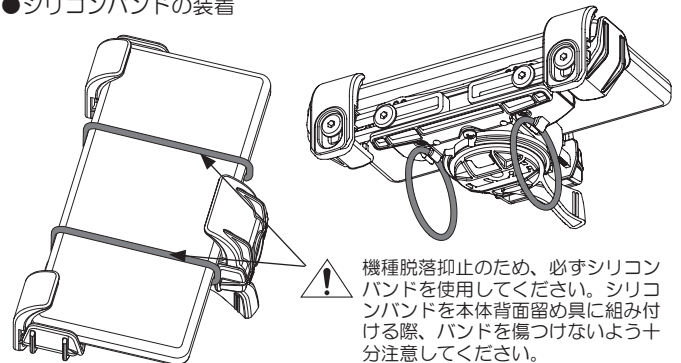
機種を差し込み、スライドウイングを押し込みながらスライドさせます。

反対側も差し込んでサイドウイングで固定し、レバー操作でロックします。

### ●ロックレバーの操作方法



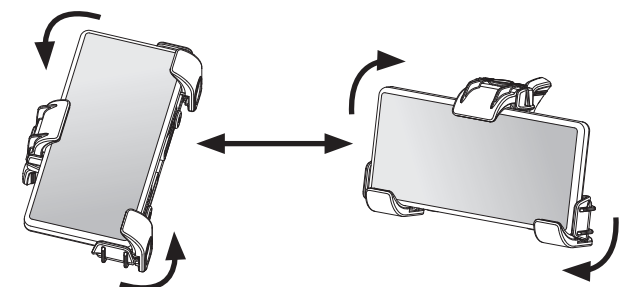
### ●シリコンバンドの装着



⚠ シリコンバンドを正しく装着することで、走行使用時の不意の機種脱落を抑止します。ホルダー本体裏側に設けられたバンド留め具に必ず装着し、ホルダーごと機種を巻き付け、確実に固定したうえでご使用ください。

⚠ シリコンバンドは走行使用前に毎回必ず確認してください。亀裂の入ったバンドで商品使用は厳禁です。速やかにバンドを新品交換してください。

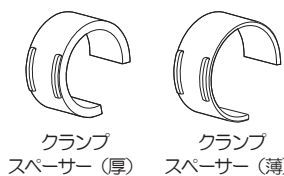
● 工具を使用せず360°回転角度の調整ができます。ホルダー本体をゆっくりと回し縦横お好みの角度に調整してご使用ください。



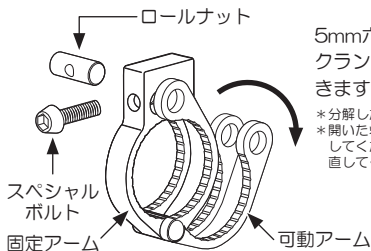
⚠ 走行中の調整は厳禁です。必ず走行前に位置を決めてからご使用ください。



**IH-1100-D首振りクランプ(リジッドタイプ)の取り付け**

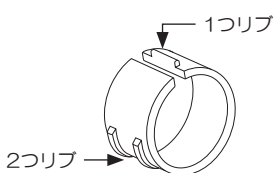


ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には20mm以上の取付スペースが必要です。  
 ●φ22: スパース(厚)  
 ●φ25: スパース(薄)  
 ●φ29: スパースなし



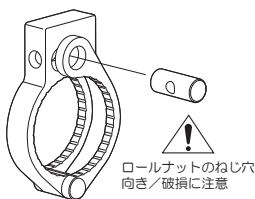
5mm六角レンチを使用して、組み立て済みのクランプを一旦分解し、可動アームを十分開きます。

\*分解した部品の紛失には十分注意してください。  
 \*開いた状態の可動アーム(左右)は曲がりやすいので注意してください。変形させてしまった場合は元通り形を整えてください。



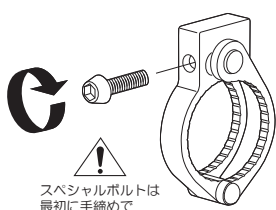
ハンドルにスパースをあて、その上にクランプをかぶせ、分解した部品を元通り仮組みします。

\*ロールナットは固定アームと可動アーム(左右)を貫通するよう組み付けます。スペシャルボルトが斜めにねじ込まれないよう防止するため、ロールナットのネジ穴は固定アームのスペシャルボルト挿入穴に正しく向けてください。  
 \*スパース使用時は組み付け向きに注意してください。2つリブが固定アーム、1つリブが可動アーム側です。



スペシャルボルトを固定アームのロールナットに組み付けます。まずは手締めで3回転ほどねじ込み、スペシャルボルトがまっすぐ無理なくねじ込めることを確認後、5mm六角レンチでしっかり締めて固定します。

\*最初から六角レンチでボルトを締め込まないでください。スペシャルボルトが斜めにねじ込まれると、ロールナットのねじ穴が破損します。  
 \*締めすぎは厳禁、部品破損の原因となります。

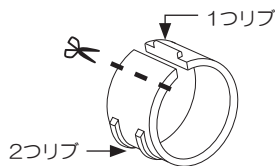


クランプ全体が動かず固定できれば正しい状態です。

⚠ 固定後、スペシャルボルトとクランプの間に隙間が生じる、クランプ全体が動いてしまう場合は、クランプを再度分解し仮組みからやり直してください。

⚠ 組み付け後、スペシャルボルト周辺を十分脱脂してください。油が残っていると緩みの原因となります。

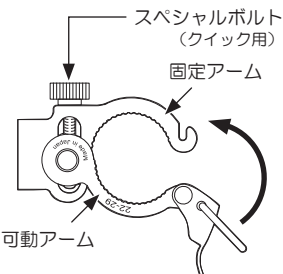
**IH-1000-D首振りクランプ(クイックタイプ)の取り付け**



ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には30mm以上の取付スペースが必要です。

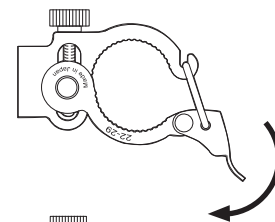
●φ22~25.4: スパース(中)  
 ●φ25.4~29: クランプシート

\*φ22.2ハンドルにスパース(中)を使用する場合は、10mmほどカットしてください。



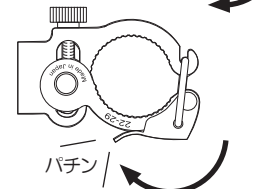
ハンドルにスパース(またはシート)を組み付け、その上に可動アームを十分に開いた状態のクランプをかぶせ、リングを固定アームのフックに掛けます。

\*スパース使用時は組み付け向きに注意してください。2つリブが固定アーム、1つが可動アーム側です。

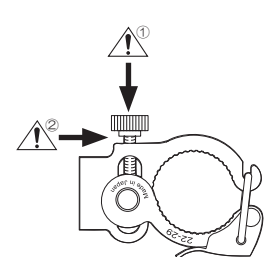


レバーを倒していき、ちょうど中間地点にきた時にぐっと重くなるように、スペシャルボルト(クイック用)を回して位置を調整します。

\*締めすぎは厳禁、部品破損の原因となります。  
 \*レバーを倒す際、スペシャルボルト(クイック用)の頭をクランプ本体へ十分押し込んでください。右イラストの状態はNGです。



適度な抵抗感でレバーが「パチン」と音を立てて閉じ、クランプ全体が動かず固定できれば正しい状態です。「パチン」と音がしない、緩い(またはきつい)場合は、いったんレバーを起こしてクランプロックを解除し、スペシャルボルト(クイック用)を微調整して再度、やり直してください。

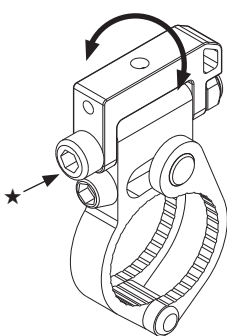


⚠ クランプを閉じた際に、スペシャルボルト(クイック用)とクランプの間に隙間が生じる、クランプ全体が動いてしまう場合は、クランプを再度分解し仮組みからやり直してください。

⚠ クランプを閉じてからスペシャルボルト(クイック用)を締め込んで固定する手順は、緩みの原因となるため厳禁です。必ず事前に調整してください。

⚠ 組み付け後、スペシャルボルト(クイック用)周辺を十分脱脂してください。油が残っていると緩みの原因となります。

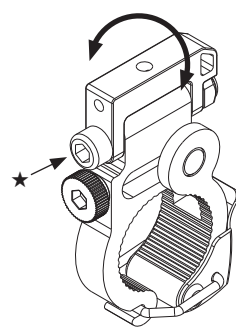
**IH-1100-D首振りクランプ(リジッドタイプ)のクランプの首振り角度調整**



付属5mm六角レンチを使用し、上部★印の六角穴付きステンレスボルト(M6)を緩めることで、クランプの首振り角度を調整できます。調整後は車面にクランプした状態で★印の六角穴付きステンレスボルト(M6)を締め込み固定します。  
 ※推奨トルク10N・m

⚠ 調整後はボルトを必ず本締めしてください。

**IH-1000-D首振りクランプ(クイックタイプ)のクランプの首振り角度調整**



付属5mm六角レンチを使用し、上部★印の六角穴付きステンレスボルト(M6)を緩めることで、クランプの首振り角度を調整できます。調整後は車面にクランプした状態で★印の六角穴付きステンレスボルト(M6)を締め込み固定します。  
 ※推奨トルク10N・m

⚠ 調整後はボルトを必ず本締めしてください。

**保証書**

**商品保証について**

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。  
 ※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。
3. 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読のうえ、ご理解・ご承諾ください。

**デイトナ保証規定**

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を持って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



**保証修理のお受付について**

お買い上げ日が証明できる書面をご用意のうえ、購入店もしくは当社までご連絡ください。

**インターネットお問合せ**

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



販売元 **株式会社 デイトナ** 東証スタンダード上場  
 〒437-0226 静岡県周知郡森町一宮 4805  
<https://www.daytona.co.jp>  
 ◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955まで  
 製造元 **MINOURN** 篠箕浦

本取扱説明書の内容の一部、または全ての無断転載を禁止